

25年6月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成25年 5月20日～ 6月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は10社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/6月	7月	8月
入荷動向	国産材	12.5	31.3	31.3
	外材	22.2	27.8	22.2
在庫動向	国産材	28.6	7.1	△ 7.1
	外材	18.8	18.8	12.5

ラミナ入荷は国産材、外材ともプラス基調で推移。
ラミナ在庫は、国産材は6月のプラスから8月のマイナスに、外材はプラス基調で推移。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/6月	7月	8月
国産材	18.8	18.8	18.8
欧州材	33.3	50.0	55.6
その他	100.0	100.0	100.0

国産材ラミナ購入価格は強保合いないしやや強含み、欧州材は強含み、上昇見込み。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・入港遅れがあり、6月以降まとまって入港予定。・ラミナ価格円安により上昇が見込まれ多くを仕入れることに不安を覚え、仕入れは必要分のみ。・大きく市場の変化がない限りラミナ在庫は横ばい。・RWは船の遅れが少し目立つ。RW在庫状況から少し一服感あるが需要続きそう。・木材利用ポイントで需要が出てくると予想。・7月から新規取引先の入荷増えるためやや増加。在庫は仕入れ、出荷とも増えるため横ばい。

(ラミナ価格動向)

・欧州材ラミナは第3四半期は大きく上がると予想。
・国産材ラミナは自社製材のため同価格の予定。6月以降の変更の予定は聞いていない。
・RW平角はラミナ価格上昇、円安のため大きく上げざるを得ない。
・国産材ラミナの値戻しに対する期待大きい、欧州材ほどの急劇な上昇は難しい。・輸入材対比で国産材が上がる。・契約分入荷すると単価アップ+為替分で仕入れ単価かなり上昇。・輸入材の価格動向にもよるが合板用丸太に一番左右され、今後も価格上昇と予想。

25年6月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/6月	7月	8月
生産動向	国産材	12.5	31.3	37.5
	WW集成管柱	16.7	16.7	16.7
	RW集成平角	14.3	28.6	21.4
	米マツ集成平角	25.0	25.0	25.0
	WW集成平角	0.0	0.0	0.0
出荷動向	国産材	6.3	31.3	37.5
	WW集成管柱	16.7	25.0	25.0
	RW集成平角	0.0	28.6	21.4
	米マツ集成平角	25.0	25.0	25.0
	WW集成平角	0.0	0.0	0.0

集成材生産動向は国産材、WW管柱、RW平角、米マツ平角ともプラス基調で推移、WW平角は横ばい。
集成材出荷動向は、国産材、WW管柱、米マツ平角ともプラス基調で推移、RW平角は6月のゼロから9月に向けプラスに、WW平角は横ばい。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/6月	7月	8月
スギ集成管柱	21.4	21.4	28.6
ヒノキ集成柱	0.0	20.0	20.0
ヒノキ集成土台	0.0	16.7	16.7
カラマツ集成土台	50.0	25.0	25.0
WW集成管柱	16.7	33.3	33.3
RW集成平角	42.9	50.0	35.7
米マツ集成平角	0.0	25.0	25.0
WW集成平角	50.0	0.0	0.0
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	50.0	0.0	0.0

集成材出荷価格は、スギ管柱、カラマツ土台、WW管柱、RW平角は強含み、ヒノキ柱、土台及び米マツ平角は6月のゼロから8月に向けプラスに、WW平角及びカラマツ平角は6月のプラスが8月に向けゼロに、米ヒバ土台は横ばい。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)

- ・夏期は稼働日少なく生産・出荷とも減少するが、秋以降増加と見込む。
- ・毎月キャパ一杯の生産で減らす予定なし。外部からの引き合いがあるが全てグループ内出荷で余力なし。
- ・RWは今年に入り需要増のため生産少々増加予定。出荷は問屋、プレカット工場の在庫増になると思われるが、6月下旬頃より需要高まると予想。・秋に向け需要が出てくると予想。・国産材は生産・出荷とも木材利用ポイント等の新規需要が見込まれ増加傾向。

(構造用集成材出荷価格動向)

- ・国産材集成材に対する引き合い非常に強いが、生産キャパを超える需要に応じきれない状況。
- ・RWは、7、8月までは上昇。その後、為替次第で上昇の可能性もあると予想。
- ・スギ集成管柱は6月に大手ハウスメーカー等のクォーター制取り決めにより価格上昇、カラマツ集成土台、平角は主原料等の値上げに伴い、製品価格の見直しを実施。需給バランスにもよるが競合製品の動向見ながら当面横ばい推移か。